

院外処方箋における疑義照会簡素化の Protokol

医療法人野崎徳洲会病院 薬剤部

<院外処方箋に関わる原則>

- ・ 先発医薬品において「変更不可」の欄にチェックがあり、かつ保険医署名欄に処方医の署名又は記名・押印がある場合は、処方薬を後発医薬品に変更できない。
- ・ 「含量規格変更不可」又は「剤形変更不可」の記載がある場合は、その指示に従う。
- ・ メーカー変更 や剤形変更などは必ず患者様に価格や服用方法を説明の上、同意を得た場合のみとする。

<疑義照会不要例>

①成分名が同一の銘柄変更（先発品→後発品、後発品のメーカー変更）

例：ボナロン錠 35mg → アレンドロン酸錠 35mg 「日医工」

ただし、先発医薬品において「変更不可」の欄にチェックがある場合は、従来通り、処方医へ疑義照会必要。

②剤形の変更（安定性、利便性の向上のための変更に限る）

例：ランソプラゾール 15mg カプセル→ランソプラゾール 15mgOD 錠

③患者希望での一包化指示（抗腫瘍剤、及びコメントに「1 包化不可」とある場合は除く）。

④湿布薬や軟膏での規格変更に関すること（合計処方量が変わらない場合）

例：ロキソプロフェンテープ(7 枚入り)×5 袋 →ロキソプロフェンテープ(5 枚入り)×7 袋
マイザー軟膏 0.05%(5g) 2 本 → マイザー軟膏 0.05%(10g) 1 本

⑤漢方薬の銘柄変更

例：ツムラ芍薬甘草湯 2.5g 1 回 2.5g → クラシエ芍薬甘草湯 2g 1 回 2g へ

⑥別規格製剤がある場合の処方規格の変更

（ただし、医師より特別に指示があれば、修正不可

例：「錠剤が大きい為 5mg 錠を 1 回 2 錠で」と処方コメントがある場合など）

修正例： ・ 5mg 錠 1 回 2 錠 → 10mg 錠 1 回 1 錠
・ 10mg 錠 1 回 0.5 錠 → 5mg 錠 1 回 1 錠
・ ワーファリン錠 1mg 2.5 錠 → ワーファリン錠 1mg 1 回 2 錠
ワーファリン錠 0.5mg 1 回 1 錠

⑦シップ薬や軟膏の数量修正

例：ケトタックステープ（1 袋 7 枚入り） 5 枚 → 7 枚（1 袋）へ
マイザー軟膏（1 本 5g） 2 g → 5 g（1 本）へ

⑧処方日数の修正について

- ・薬歴上継続処方されている処方薬に残薬があるため、投与日数を調整入力
→ただし、次回処方漏れのないよう、1日分は処方を残す。
- ・次回受診まで現在継続薬が処方上足りない場合、次回受診までの足りない日数分を代行入力
- ・「1日おきに服用」と指示された処方薬が、連日投与の他の処方薬と同一の日数で処方されている場合の処方日数の適正化（処方間違いが明確な場合）
例：（他の処方薬が30日分処方の時） バクトラミン1錠 朝食後 1日おき 30日分 → 15日分
- ・週1回の薬が連日処方の他の薬と同じ日数になっている場合の処方日数の適正化

⑨次回受診まで足りないインスリン製剤、インスリン針の本数変更

<疑義照会不要例の調剤後の当院連絡方法>

- ・疑義照会不要例については、変更された内容を必ず当院薬剤部までメールでご連絡ください。
連絡方法は、当院ホームページ 薬剤部内にあるトレーシングレポートをダウンロードし、必要事項を入力の上、下記アドレスまでメールしてください。

※電話は不要です。

野崎徳洲会病院薬剤部アドレス：nozayaku@tokushukai.jp

疑義照会が必要な場合、随時、野崎徳洲会病院 薬剤部まで連絡ください。

連絡先：072-872-2648（薬剤部直通電話）

以上